（別記第２号様式　道民意見提出手続の意見募集結果）

「北海道 SDGs 未来都市計画(2025～2027)」（素案）についての意見募集結果

令和７年(2025 年) ２月２６日

「北海道 SDGs 未来都市計画(2025～2027)」（素案）について、道民意見提出手続により、道民の皆様からご意見を募集したところ、７人、６団体から、延べ２９件のご意見が寄せられました。

ご意見の要旨及びご意見に対する道の考え方については、次のとおりです。

意　見　の　概　要	意見に対する道の考え方※
○　米の値段が高騰、ウクライナ戦争の影響で食糧難も危惧。南海トラフ震災で本州・四国・九州の太平洋岸が被害を受けると、食糧難が発生する。「輸出を含む農作物等の販路拡大」「道産食品の販路・輸出拡大」の部分は削除すべき。 （札幌市）	道では、食料安全保障の維持の観点を踏まえた生産基盤の維持・強化と高品質な一次産品の安定供給の観点を盛り込んだ北海道食の輸出拡大戦略＜第Ⅲ期＞に基づき、国内への食料供給能力の確保と安定した輸出体制の確立を目指してまいります。 D
○　欧米豪の富裕層は、その場で長期保養しているだけで、観光地を廻る事はしないので、無駄なコンテンツ。富裕層向けのホテル、レストラン等は、エネルギー効率が悪く、食材の廃棄も甚大なので不要である。 （札幌市）	道では、世界トップクラスの観光コンテンツの確立に向けて、多様な観光ニーズに対応するとともに、環境負荷の少ない観光コンテンツの確立に努めることとしており、素案のとおりといたします。 D
○　ニセコでは、スタッフを外国人しか採用せず、日本人を排除するエリアが拡大しつつある。日本人を排除する企業・団体には、補助金や減税・免税などの、如何なる優遇策も許されない。 （札幌市）	持続的に発展する観光地づくりに向けて、観光人材のスキル向上や観光振興に寄与する将来の担い手創出等は重要であることから、素案のとおりといたします。 D
○　富裕層がプライベートジエットで来道するのは、エネルギー資源の浪費と二酸化炭素の増大を招くので拒否すべき。外国人によるレンタカーの事故が多発しているので、運転代行を奨励すべき。 （札幌市）	道では、持続可能な地域社会づくりに向けて、本道の価値と魅力を生かすとともに、環境保全や脱炭素などにも取り組むこととしており、御意見の趣旨については、今後の施策推進の参考といたします。 C
○　5G のミリ波をクロスさせると、その場の酸素が消滅して、呼吸困難を引き起こす（コロナの要因）。赤ん坊や幼児の突然死の誘発、5G のミリ波による不眠障がいが増加する。 （札幌市）	5G の活用促進については、国において安全性を確認した上で進めているところであるため、素案のとおりといたします。 D
○　SDGs は欧米人が優位に立つためにやっているもので相手にする必要はない。日本には日本の良いところがある。 （帯広市）	SDGs は、2015 年に「国連持続可能な開発サミット」において全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」で掲げられた国際社会全体の目標です。 日本においても、SDGs の達成に向け総理大臣を本部長とする「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」が設置され、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」が策定されています。本道も持続可能な社会の実現に向けてSDGsの視点に基づいた政策を推進してまいります。 D

○　物価が上がって格差社会になっている。平等な社会にする目標を立ててほしい。性差別もある。少数の人にも目を向けてほしい。SDGs はこういうところにこそ光をあてるものだと思う。（札幌市）	ご意見の趣旨を踏まえ、SDGs のゴールやターゲット等を精査するとともに、人権や平等に関わる記述などを追記しました A
○　SDGs の知名度もここ数年で大きく向上した一方で、持続的な地域社会の実現に向け、最も大切なことは、道民一人ひとりが SDGs を理解し、行動に繋げていくことだと思うので、この計画の内容が多くの方々に伝わるよう努力していただきたい。（函館市）	ご意見の趣旨は、今後の施策推進の参考といたします C
○　現在は、学校においても SDGs について授業で取り上げるなど、子ども達の理解も深まっている中、計画における北海道としての取組についても、子ども達に伝えていくことが重要だと考える。（函館市）	ご意見の趣旨は、今後の施策推進の参考といたします C
○　民間企業で優れた取組を実施している事例も数多くある。こうした取組の横展開を進めるなど、民間企業における取組の輪がこれまで以上に拡がっていくように努力が重要。（函館市）	ご意見の趣旨は、今後の施策推進の参考といたします C
○　ゴール５や９、10、12、17 などは、具体的取組を記載している各項目にゴールとして明示することが適当と考える。（函館市）	ご意見の趣旨を踏まえ、SDGs のゴールと指標や施策との関連性について、あらためて整理いたしました。 A
○　ゴール１の指標は、ゴールとの関連性が分かりにくくなっているので、補完する指標の設定などを検討すべきと考える。（函館市）	ご意見の趣旨を踏まえ、SDGs のゴールと指標や施策との関連性について、あらためて整理いたしました。 A
○　人づくりの最も重要な取組は、自らがいかに学習意欲、チャレンジ意欲を持つように推進できるかだと考える。子どもたちは身近な大人をみて育つので、まず、大人が学ぶ、チャレンジする必要がある。SDGs も意欲のある人材なくては実現できないので、大人を育成する施策も必要ではないか。（札幌市）	ご意見の趣旨を踏まえ、「社会人の学び直しや多様な背景を持つ人々のニーズに応じた学習機会の提供など、自らの可能性を最大限に伸長することのできる学習機会の充実に資する取組の支援、潜在能力を発揮できる環境整備の推進。」の記述を追加します。 A
○　経済発展や自然環境保全の記述が多く、５つのＰのうち、人が人らしく生きていくために保証されなければならない「ピープル（人間）」が軽視されていると感じる。特に北海道は、貧困問題やジェンダー平等の取組が遅れており、マイノリティの権利保障、多様性のある社会構築も必要。多様性のある社会こそが活気を生み経済発展にもつながる。（函館市）	ご意見の趣旨を踏まえ、SDGs のゴールやターゲット等を精査するとともに、人権や平等、ジェンダーに関わる記述などを追記しました。 A
○　SDGs という言葉はよく聞くが内容まで理解している人は少ないと思うので、理解が深まるような取り組みをお願いしたい（札幌市）	「２（３）情報発信」などに記載のとおり、SDGs の理解を深める取り組みを進めてまいります。 B
○　固定的性別役割意識が根強いことが過疎化や少子化の遠因と感じるのでジェンダー平等や人権意識の浸透に向けた具体的な取り組みに力を入れてほしい（札幌市）	ご意見の趣旨を踏まえ、SDGs のゴールやターゲット等を精査するとともに、人権や平等、ジェンダーに関わる記述などを追記しました。 A

○　「2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット」で使用した指標について、P12 以降の KPI として記載する際に、簡単なマークでもいいので「2030 年～優先的なゴール」で掲げた指標であることを明記した方が良い。 （石狩市）	国の指定するフォーマットに沿って作成しているところであり、素案のとおりといたします。 D
○　一部指標について2030年よりあとの時期を目標としている理由があるのであれば、記載した方が良い。 （石狩市）	ご意見の趣旨を踏まえ、目標年次は 2030 年を目安としていますが、総合計画等において中長期的な目標を設定済みのものはそれを引用しています。ご意見のとおり「（目標年次が 2030 年でないものについては総合計画から引用）」等の記述を追加しました。 A
○　各 KPI において、一部重複しているものについては「（再掲）」の表記がある方が分かりやすいのではないか。　（石狩市）	今後の施策推進､KPI の進捗管理にあたっての参考といたします C
○　「漁業生産量」の目標年度のみが、他の指標と異なる理由があるのであれば、記載した方が良い。 （石狩市）	ご意見の趣旨を踏まえ、目標年次は 2030 年を目安としていますが、総合計画等において中長期的な目標を設定済みのものはそれを引用しています。ご意見のとおり「（目標年次が 2027 年でないものについては総合計画から引用）」等の記述を追加しました。 A
○　P15 の KPI の目標年度を 2032 年度としているが、「2025～2027 年度の取組」とそぐわないのではないか。 （石狩市）	総合計画等において中長期的な目標を設定済みのものはそれを引用しており、また、統計数値を把握できるタイミングはそれぞれ異なることから、項目により時期が前後しております。 D
○　KPI の目標値を「全国平均値以上」としているものについて、現時点での全国平均値か、目標年度の平均値か分かりづらい。仮に目標年度としてしまうと、他都府県においても数字が上がる中、達成困難な目標になりかねないと考える。 （石狩市）	KPI で「全国平均値以上」を目標としているものは、目標年において全国下位の状況を脱することを目指しているものです。目標は、現状等を踏まえ毎年見直しを行うことから、今後の施策推進、KPI の進捗管理にあたっての参考といたします C
○　道内市町村の SDGs 達成に向けた取組を促進するため、市町村への支援を継続との記載があることは非常に心強く感じる。 （遠軽町）	「３推進体制」などに記載のとおり、市町村をはじめ多様な主体と連携しながら SDGs の推進を進めてまいります。 B
○　人材不足等により、単独での SDGs 推進が難しい町村への支援充実をお願いしたい。 （足寄町）	「３推進体制」などに記載のとおり、市町村をはじめ多様な主体と連携しながら SDGs の推進を進めてまいります。 B
○　SDGs 推進にあたり、セミナーやワークショップは初期段階でも手を付けやすい取組である。セミナー等を開催できる専門人材の育成支援を行うことで、幅広く SDGs を推進することができるのではと考える。 （岩内町）	ご意見の趣旨は、今後の施策推進の参考といたします C
○　1923 時間→1,923 時間 （帯広市）	ご意見のとおり修正いたします A

○　未来を担う人づくりの KPI は北海道を担う人づくりを目的に設定していると考えるが、当該 KPI は小中学生のみのものとなっているが、高校や大学にフォーカスした KPI を設定する必要はないか。また、人づくりをしても道外流出してしまっては、「あるべき姿」が遠のいてしまうため、人口流出を軽減する策についても記述する必要がある。　（江差町）	ご意見の趣旨は、今後の施策推進の参考といたします C
○　「３　推進体制」に各種計画との関連性が記述されているが、ピラミッドチャート等を活用して図解した方が、計画の上下関係が見えて、広く理解されると考える （江差町）	当該計画と各種計画は上下関係にないため、案のとおりといたします D
○　将来的な自走に向けた取組について、SDGs を推進するために事業を展開するのではなく、既に実施している取組がSDGsに資する取組だということは往々にしてあるため、目的と手段が逆転しないようなアプローチをいただきたい。 （江差町）	市町村をはじめ多様な主体と連携しながら SDGs の推進を進めてまいります。ご意見の主旨は今後の施策推進にあたっての参考といたします C

※「意見に対する道の考え方」のＡ～Ｅの区分は次のとおりです。

A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

問い合わせ先
北海道総合政策部計画局計画推進課
電　話：011-206-6798　　ＦＡＸ：011-232-8924
電子メール：keikaku.suishin@pref.hokkaido.lg.jp